

証券コード 5208

<https://www.arisawa.co.jp>



2027年3月期 第1四半期 連結決算の概要



2026/8/6

株式会社 有沢製作所

目次

■ 2027年3月期 第1四半期 連結決算

2027年3月期 第1四半期 連結決算	3
損益計算書	4
貸借対照表	5
2027年3月期 第1四半期の前年同期比増減分析	6
2027年3月期 第1四半期の4月30日予想との増減分析 ...	10

□ 2027年3月期 業績予想

上期連結業績予想(前年同期・4月30日予想との比較)	12
通期連結業績予想(前期・4月30日予想との比較)	15

□ 参考資料

参考資料	18
------------	----

(百万円)	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	前年 同期比
売上高	12,634	15,828	+25.3%
営業利益	902	1,181	+30.8%
営業利益率	7.1%	7.5%	--
経常利益	972	1,378	+41.7%
純利益	728	911	+25.1%
一株利益(円)	21.92	27.80	+26.8%
為替レート (円/\$) 平均 期末	152.55 144.81	156.96 162.39	--

売上高 : 電子材料をはじめ、各セグメントで増加し、前年同期比31億93百万円(25.3%)の増収。

営業利益 : 売上高の増加とそれに伴う操業度の向上により、同2億78百万円(30.8%)の増益。

経常利益 : 前年同期に比べ為替差益が増加し、同4億5百万円(41.7%)の増益。

当期純利益 : 同1億83百万円(25.1%)の増益。

(百万円)	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q予想(4/30)	27/3期 1Q実績	前年同期比 増減	
売上高	12,634	14,600	15,828	+3,193	電子材料をはじめ、各セグメントで増収
売上総利益	2,623 (20.8%)		3,649 (23.1%)		
販売費及び一般管理費	1,721		2,468		
営業利益	902 (7.1%)	1,000 (6.8%)	1,181 (7.5%)	+278	増収、操業度の向上
為替差損益	35		173		
その他営業外損益	35		24		
経常利益	972 (7.7%)	1,100 (7.5%)	1,378 (8.7%)	+405	
有価証券売却益	70		0		
その他特別損益	0		-1		
税引前利益	1,042	1,100	1,377		
法人税等他	314		466		
親会社に帰属する四半期純利益	728 (5.8%)	750 (5.1%)	911 (5.8%)	+183	

※()内は利益率を表す。



貸借対照表

(百万円)	26/3	26/6	増減	
資産の部				
流動資産	54,001	56,955	+2,953	現金預金 +1,932、売掛債権 +311、 棚卸資産 +793
有形固定資産、無形固定資産	23,948	24,552	+603	設備投資等
投資有価証券	1,929	2,540	+610	
その他の資産	1,158	945	△213	
資産合計	81,039	84,993	+3,954	
負債の部				
流動負債	26,645	28,088	+1,442	買掛債務 +1,470
固定負債	3,705	7,255	+3,550	長期借入金 +3,597
負債合計	30,351	35,343	+4,992	
株主資本	45,186	43,536	△1,650	利益剰余金 △1,649
その他包括利益合計、新株予約権	5,501	6,112	+611	その他有価証券評価差額金 +419
負債純資産合計	81,039	84,993	+3,954	



2027年3月期 第1四半期の前年同期比増減分析



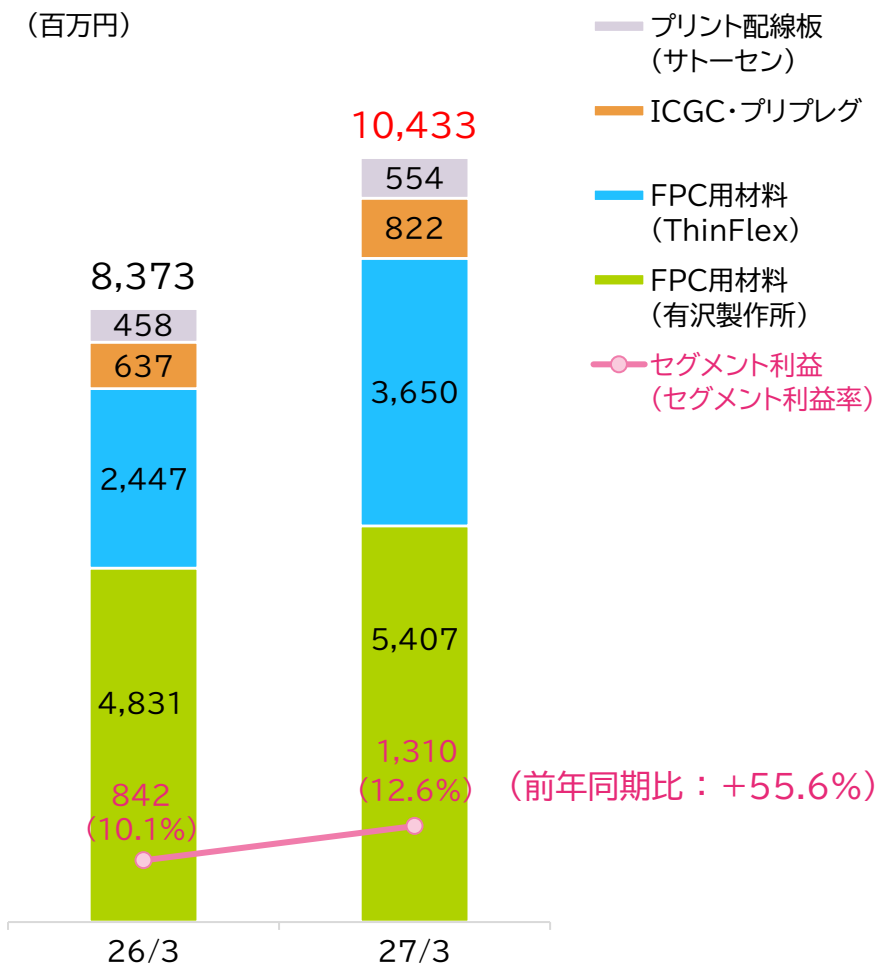
(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	増減	26/3期 1Q実績	27/3期 1Q実績	増減
電子材料	8,373	10,433	+2,060	842	1,310	+468
FPC用材料(有沢製作所)	4,831	5,407	+576			
FPC用材料(ThinFlex)	2,447	3,650	+1,203			
ICGC、プリプレグ	637	822	+185			
プリント配線板(サトーセン)	458	554	+96			
産業用構造材料	2,654	3,534	+880	364	86	△276
ハニカムパネル	448	775	+327			
水処理用FRP製圧力容器	1,817	2,199	+382			
その他	389	560	+171			
電気絶縁材料	621	678	+56	23	84	+61
ディスプレイ材料	900	1,090	+189	136	286	+150
関連商品・その他	84	90	+5	60	77	+17
合計	12,634	15,828	+3,193	1,425	1,846	+420
			全社費用	-523	-665	
			営業利益	902	1,181	+278

- 売上高：電子材料をはじめ、各セグメントで増加し、前年同期比31億93百万円(25.3%)の増収。
 - ・ 電子材料は、スマートフォンおよび半導体向けが好調に推移し、同24.6%の増収。
 - ・ 産業用構造材料は、航空機内装材、水処理用圧力容器が好調に推移し、同33.2%の増収。
 - ・ ディ스플레이材料は、3D関連材料が好調に推移し、売上高は同21.1%の増収。

- 営業利益：売上高の増加とそれに伴う操業度の向上により、同2億78百万円(30.8%)の増益。
 - ・ 内容の詳細については、7～9ページに記載。

電子材料 売上高

(百万円)



市場

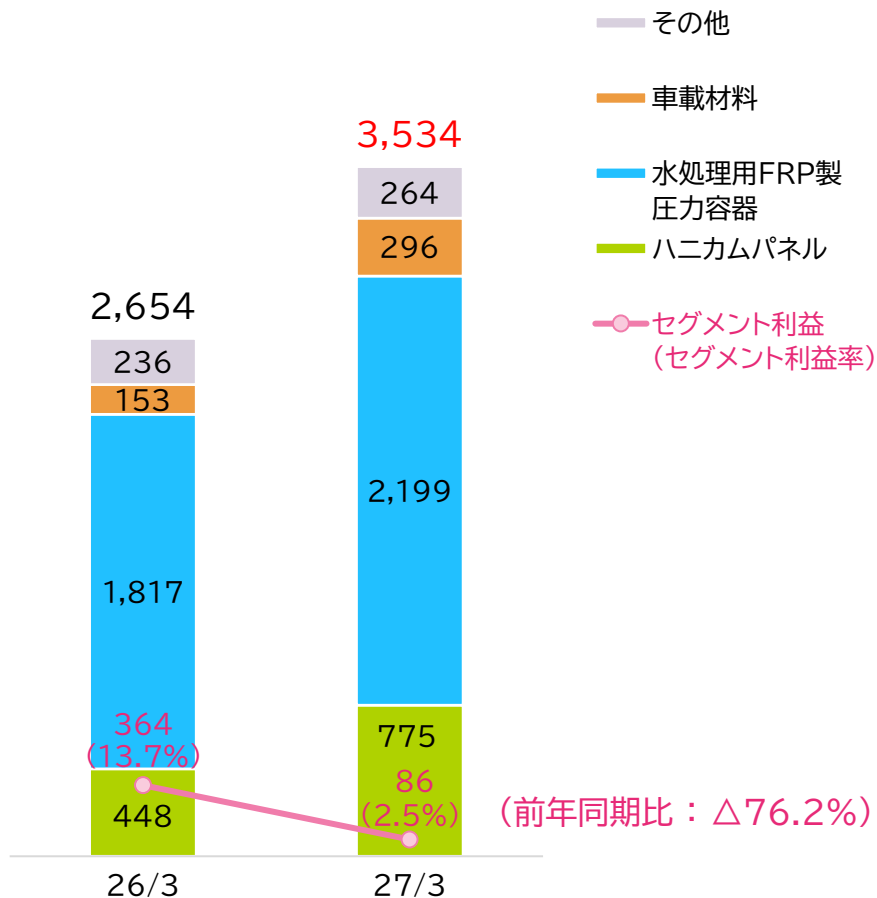
- スマートフォンおよび半導体(PC、AIサーバー向けなど)の需要が好調に推移している。

業績

- FPC用材料、ICGC・プリプレグ、プリント配線板が増加し、前年同期比20億60百万円(24.6%)の増収。
 - FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体向けが強く、同11.9%の増収。
 - FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォン向け等が伸び、同49.2%の増収。
 - ICGC・プリプレグは、同29.1%の増収。
 - プリント配線板は、同21.0%の増収。
- 売上高の増加により、セグメント利益は同4億68百万円(同55.6%)の増益。

産業用構造材料 売上高

(百万円)



市場

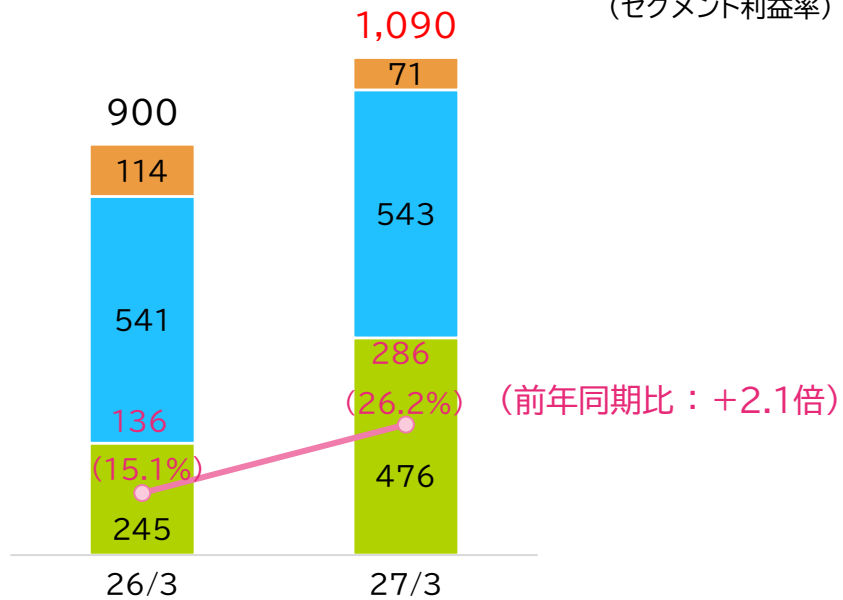
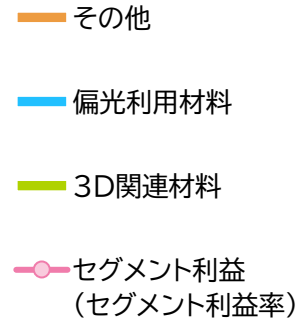
- 世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移している。
- 航空需要は堅調に推移している。

業績

- 航空機内装用ハニカムパネルの需要回復、水処理用FRP製圧力容器が好調に推移したこと等により、前年同期比8億80百万円(33.2%)の増収。
 - ハニカムパネルは同73.3%の増収。
 - 水処理用FRP製圧力容器は同21.0%の増収。
- 品種構成の変化に加え、一時的な販売管理費の増加により、セグメント利益は同2億76百万円(同76.2%)の減益。

ディスプレイ材料 売上高

(百万円)



市場

- 3D関連材料は、2026年3月期下期からの復調傾向を維持。

業績

- 3D関連材料の売上が増加し、前年同期比1億89百万円(21.1%)の増収。
 - 3D関連材料は、市場環境が正常化し同2億31百万円(94.6%)の増収。
 - 偏光利用部材は、同2百万円(0.3%)の増収。
- 売上高の増加と品種構成の変化により、セグメント利益は1億50百万円(2.1倍)の増益。



2027年3月期 第1四半期の4月30日予想との増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	27/3期 1Q 4/30予想	27/3期 1Q実績	増減	27/3期 1Q 4/30予想	27/3期 1Q実績	増減
電子材料	9,700	10,433	+733	1,000	1,310	+310
FPC用材料(有沢製作所)	5,200	5,407	+207			
FPC用材料(ThinFlex)	3,200	3,650	+450			
ICGC、プリプレグ	750	822	+72			
プリント配線板(サトーセン)	550	554	+4			
産業用構造材料	3,200	3,534	+334	150	86	△64
ハニカムパネル	750	775	+25			
水処理用FRP製圧力容器	1,950	2,199	+249			
その他	500	560	+60			
電気絶縁材料	600	678	+78	50	84	+34
ディスプレイ材料	1,000	1,090	+90	250	286	+36
関連商品・その他	100	90	△10	50	77	+27
合計	14,600	15,828	+1,228	1,500	1,846	+346
			全社費用	-500	-665	
			営業利益	1,000	1,181	+181

■ 売上高：電子材料、産業用構造材料、電気絶縁材料、ディスプレイ材料が予想を上回り、12億28百万円(予想比8.4%)の増収。

■ 営業利益：売上高の増加により、1億81百万円(同18.1%)の増益。

- ・ 電子材料は、スマートフォンおよび半導体(PC、AIサーバー向けなど)の堅調な需要に支えられた。
- ・ 産業用構造材料は、水処理用FRP製圧力容器の市場環境が堅調で、予想を上回った。
- ・ ディスプレイ材料は、3D関連材料が堅調に推移し、予想を上回った。

目次

□ 2027年3月期 第1四半期 連結決算

2027年3月期 第1四半期 連結決算	3
損益計算書	4
貸借対照表	5
2027年3月期 第1四半期の前年同期比増減分析	6
2027年3月期 第1四半期の4月30日予想との増減分析 ...	10

■ 2027年3月期 業績予想

上期連結業績予想(前年同期・4月30日予想との比較)	12
通期連結業績予想(前期・4月30日予想との比較)	15

□ 参考資料

参考資料	18
------------	----

上期連結業績予想(前年同期・4月30日予想との比較)

(百万円)	26/3期 上期 実績	27/3期 上期 4/30予想	27/3期 上期 8/6予想	前年 同期比	4/30 予想比
売上高	26,537	31,000	32,900	+24.0%	+6.1%
営業利益	2,454	2,600	3,100	+26.3%	+19.2%
営業利益率	9.3%	8.4%	9.4%		
経常利益	2,154	2,600	3,300	+53.2%	+26.9%
純利益	1,562	1,700	2,200	+40.8%	+29.4%
一株利益(円)	47.00	51.87 *	67.12 **	+42.8%	+29.4%
配当金(円)	44.00	49.00	55.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均 期末	148.40 148.88	156.50 150.00	158.29 158.00	--	--

* 3月31日現在の発行済株式数で試算

** 6月30日現在での発行株式数で試算

前年同期比

売上高 : 電子材料、産業用構造材料、ディスプレイ材料が増加し、前年同期比63億63百万円(24.0%)の増収と予想する。

営業利益 : 売上高の増加により同6億46百万円(26.3%)の増益。

経常利益 : 同53.2%の増益。

当期純利益 : 同40.8%の増益。

4/30予想比

売上高 : 電子材料、産業用構造材料、電気絶縁材料、ディスプレイ材料が増加し、予想比19億円(6.1%)の増収と予想する。

営業利益 : 売上高の増加により同5億円(19.2%)の増益。

経常利益 : 同26.9%の増益。

当期純利益 : 同29.4%の増益。

2027年3月期 上期予想の前年同期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 上期実績	27/3期 上期 8/6予想	増減	26/3期 上期実績	27/3期 上期 8/6予想	増減
電子材料	17,217	21,900	+4,683	1,685	2,800	+1,115
FPC用材料(有沢製作所)	9,719	11,100	+1,381			
FPC用材料(ThinFlex)	5,286	8,000	+2,714			
ICGC、プリプレグ	1,308	1,700	+392			
プリント配線板(サトーセン)	904	1,100	+196			
産業用構造材料	6,081	7,400	+1,319	1,218	800	△418
ハニカムパネル	999	1,600	+601			
水処理用FRP製圧力容器	3,825	4,200	+375			
その他	1,257	1,600	+343			
電気絶縁材料	1,265	1,250	△15	92	150	+58
ディスプレイ材料	1,804	2,200	+396	324	550	+226
関連商品・その他	168	150	△18	120	100	△20
合計	26,537	32,900	+6,363	3,441	4,400	+961
			全社費用	-987	-1,300	
			営業利益	2,454	3,100	+646

■ 市場予想

- スマートフォンや半導体の好調な需要が継続する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、回復傾向を維持。

■ 業績予想

- 売上高は、電子材料、産業用構造材料、ディスプレイ材料の売上増により、63億63百万円(前年同期比24.0%)の増収を見込む。
- 営業利益は、売上高の増加により6億46百万円(同26.3%)の増益。



2027年3月期 上期予想の4/30予想比増減分析



(百万円)	売上高			セグメント利益		
	27/3期 上期 4/30予想	27/3期 上期 8/6予想	増減	27/3期 上期 4/30予想	27/3期 上期 8/6予想	増減
電子材料	20,700	21,900	+1,200	2,200	2,800	+600
FPC用材料(有沢製作所)	11,000	11,100	+100			
FPC用材料(ThinFlex)	7,100	8,000	+900			
ICGC、プリプレグ	1,500	1,700	+200			
プリント配線板(サトーセン)	1,100	1,100	±0			
産業用構造材料	6,900	7,400	+500	750	800	+50
ハニカムパネル	1,550	1,600	+50			
水処理用FRP製圧力容器	4,000	4,200	+200			
その他	1,350	1,600	+250			
電気絶縁材料	1,150	1,250	+100	100	150	+50
ディスプレイ材料	2,050	2,200	+150	500	550	+50
関連商品・その他	200	150	△50	100	100	±0
合計	31,000	32,900	+1,900	3,650	4,400	+750
			全社費用	△1,050	-1,300	
			営業利益	2,600	3,100	+500

■ 市場予想

- スマートフォンや半導体の好調な需要が継続する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、回復傾向を維持。

■ 業績予想

- 売上高は、電子材料、産業用構造材料、電気絶縁材料、ディスプレイ材料の売上増により、19億円(予想比6.1%)の増収を見込む。
- 営業利益は、売上高の増加により5億円(同19.2%)の増益。

通期連結業績予想(前期・4月30日予想との比較)



(百万円)	26/3期 通期 実績	27/3期 通期 4/30予想	27/3期 通期 8/6予想	前期比	4/30 予想比
売上高	56,474	61,300	64,200	+13.7%	+4.7%
営業利益	5,805	5,900	6,500	+12.0%	+10.2%
営業利益率	10.3%	9.6%	10.1%		
経常利益	6,157	5,700	6,400	+3.9%	+12.3%
純利益	4,995	4,000	4,500	△9.9%	+12.5%
一株利益(円)	150.57	122.04 *	137.29**	△8.8%	+12.5%
配当金(円)	合計 122.00	合計 98.00	合計 110.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均 期末	149.61 159.88	153.00 150.00	156.32 155.00	--	--

* 3月31日現在の発行済株式数で試算

** 6月30日現在での発行株式数で試算

■ 前期比

売上高 : 電子材料を筆頭に増加し、前期比77億26百万円(13.7%)の増収と予想する。
 営業利益 : 売上高の増加により同6億95百万円(12.0%)の増益と予想する。
 経常利益 : 同3.9%の増益。
 当期純利益 : 同9.9%の減益。

■ 4/30予想比

売上高 : 電子材料、産業用構造材料、電気絶縁材料、ディスプレイ材料が増加し、予想比29億円(4.7%)の増収と予想する。
 営業利益 : 売上高の増加により同6億円(10.2%)の増益。
 経常利益 : 同12.3%の増益。
 当期純利益 : 同12.5%の増益。

2027年3月期 通期予想の前期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 実績	27/3期 8/6予想	増減	26/3期 実績	27/3期 8/6予想	増減
電子材料	35,882	42,700	+6,818	3,558	5,500	+1,942
FPC用材料(有沢製作所)	19,376	22,200	+2,824			
FPC用材料(ThinFlex)	11,808	14,900	+3,092			
ICGC、プリプレグ	2,776	3,300	+524			
プリント配線板(サトーセン)	1,922	2,300	+378			
産業用構造材料	13,731	14,300	+569	2,901	1,800	△1,101
ハニカムパネル	2,508	3,200	+692			
水処理用FRP製圧力容器	8,257	8,100	△157			
その他	2,966	3,000	+34			
電気絶縁材料	2,546	2,400	△146	264	300	+36
ディスプレイ材料	3,973	4,500	+527	833	1,200	+367
関連商品・その他	339	300	△39	233	200	△33
合計	56,474	64,200	+7,726	7,792	9,000	+1,208
			全社費用	-1,987	-2,500	
			営業利益	5,805	6,500	+695

市場予想

- スマートフォンや半導体の好調な需要が継続する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、回復傾向を維持。

業績予想

- 売上高は、電子材料、産業用構造材料、ディスプレイ材料の売上増により、77億26百万円(前期比13.7%)の増収を見込む。
- 営業利益は、売上高の増加により6億95百万円(同12.0%)の増益。



2027年3月期 通期予想の4/30予想比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	27/3期 通期 4/30予想	27/3期 通期 8/6予想	増減	27/3期 通期 4/30予想	27/3期 通期 8/6予想	増減
電子材料	40,600	42,700	+2,100	4,500	5,500	+1,000
FPC用材料(有沢製作所)	21,400	22,200	+800			
FPC用材料(ThinFlex)	13,800	14,900	+1,100			
ICGC、プリプレグ	3,100	3,300	+200			
プリント配線板(サトーセン)	2,300	2,300	±0			
産業用構造材料	13,900	14,300	+400	2,100	1,800	△300
ハニカムパネル	3,100	3,200	+100			
水処理用FRP製圧力容器	8,000	8,100	+100			
その他	2,800	3,000	+200			
電気絶縁材料	2,200	2,400	+200	200	300	+100
ディスプレイ材料	4,200	4,500	+300	1,000	1,200	+200
関連商品・その他	400	300	△100	200	200	±0
合計	61,300	64,200	+2,900	8,000	9,000	+1,000
			全社費用	△2,100	-2,500	
			営業利益	5,900	6,500	+600

■ 市場予想

- スマートフォンや半導体の好調な需要が継続する。
- ハニカムパネルは、回復基調が続く。
- 3D関連材料の受注は、回復傾向を維持。

■ 業績予想

- 売上高は、電子材料、産業用構造材料、電気絶縁材料、ディスプレイ材料の売上増により、29億円(予想比4.7%)の増収を見込む。
- 営業利益は、売上高の増加により6億円(同10.2%)の増益を見込む。

目次

□ 2027年3月期 第1四半期 連結決算

2027年3月期 第1四半期 連結決算	3
損益計算書	4
貸借対照表	5
2027年3月期 第1四半期の前年同期比増減分析	6
2027年3月期 第1四半期の4月30日予想との増減分析 ...	10

□ 2027年3月期 業績予想

上期連結業績予想(前年同期・4月30日予想との比較)	12
通期連結業績予想(前期・4月30日予想との比較)	15

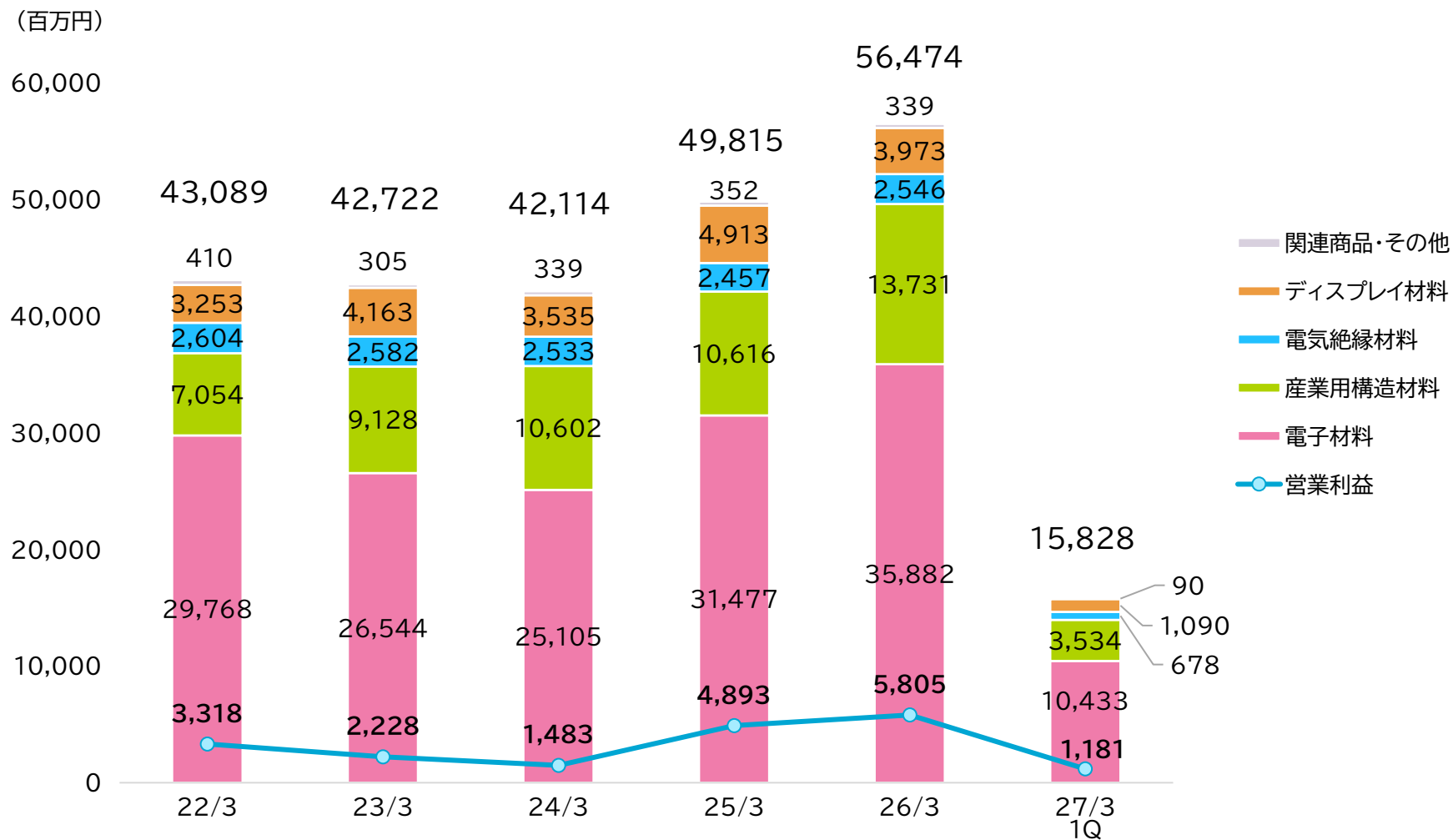
■ 参考資料

参考資料	18
------------	----

会社別 第1四半期業績(前年同期比・予想比)

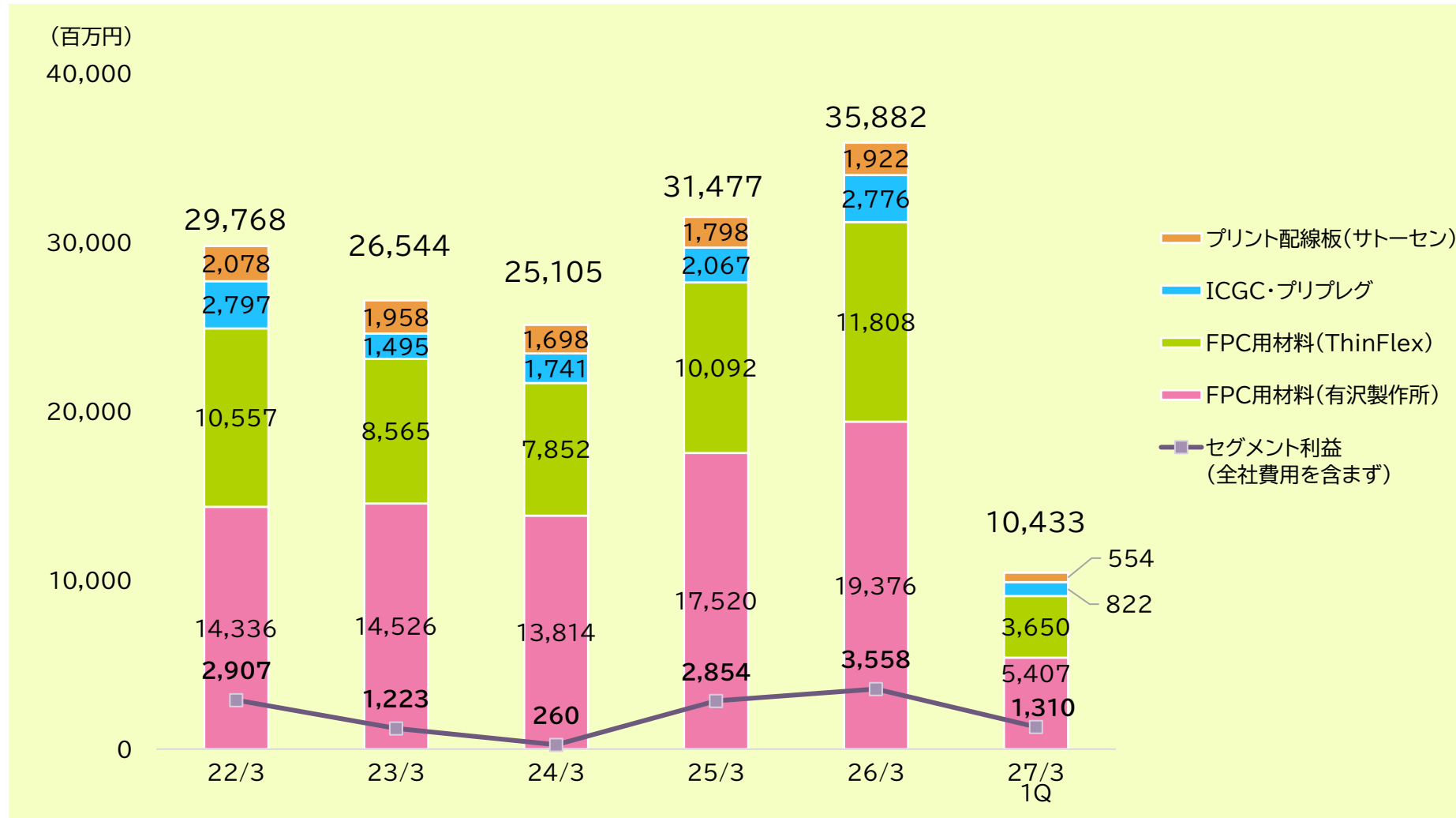
(百万円)	売上高					営業利益				
	26/3期 1Q 実績	27/3期 1Q 4/30予想	27/3期 1Q 実績	増減		26/3期 1Q 実績	27/3期 1Q 4/30予想	27/3期 1Q 実績	増減	
				対前年同期	対予想				対前年同期	対予想
単体										
有沢製作所	7,973	9,100	9,653	+1,680	+553	420	820	798	+378	△22
連結会社										
シンフレックス	2,907	3,600	3,628	+721	+28	61	70	66	+5	△4
サトーセン	458	550	554	+96	+4	1	20	19	+18	△1
アリサワファイバーグラス	678	750	786	+108	+36	4	90	69	+65	△21
プロテック	1,773	1,900	2,145	+372	+245	313	△90	△43	△356	+47
有沢総業	501	500	623	+122	+123	20	25	68	+48	+43
有沢樹脂工業	93	100	87	△6	△13	7	5	0	△7	△5
カラーリンク・ジャパン	543	500	533	△10	+33	60	60	92	+32	+32
(連結消去額)	-2,292	-2,400	-2,181			16		112		
合 計	12,634	14,600	15,828	+3,193	+1,228	902	1,000	1,181	+278	+181

分野別の業績推移(売上高・営業利益)



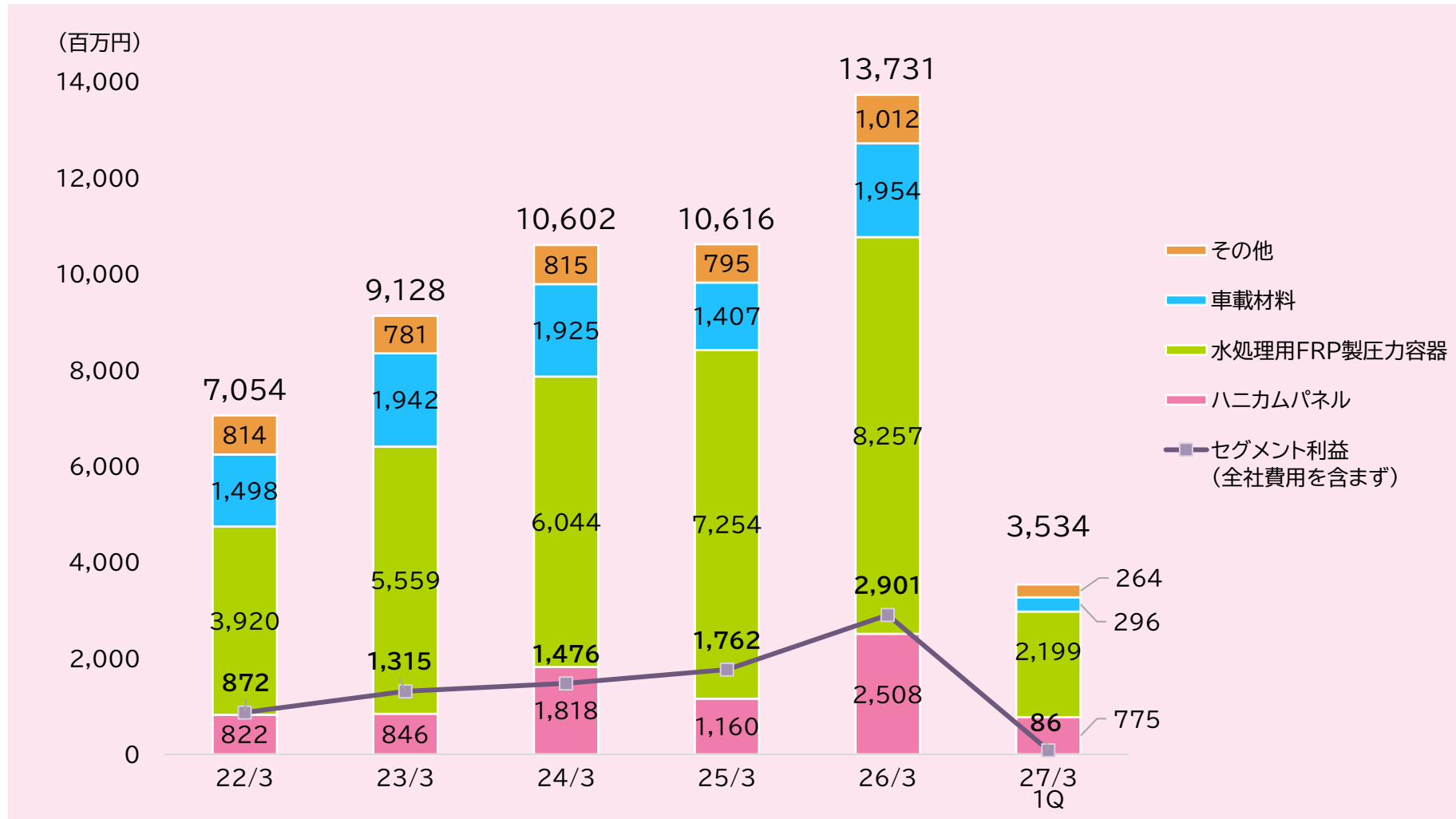


電子材料の売上高推移

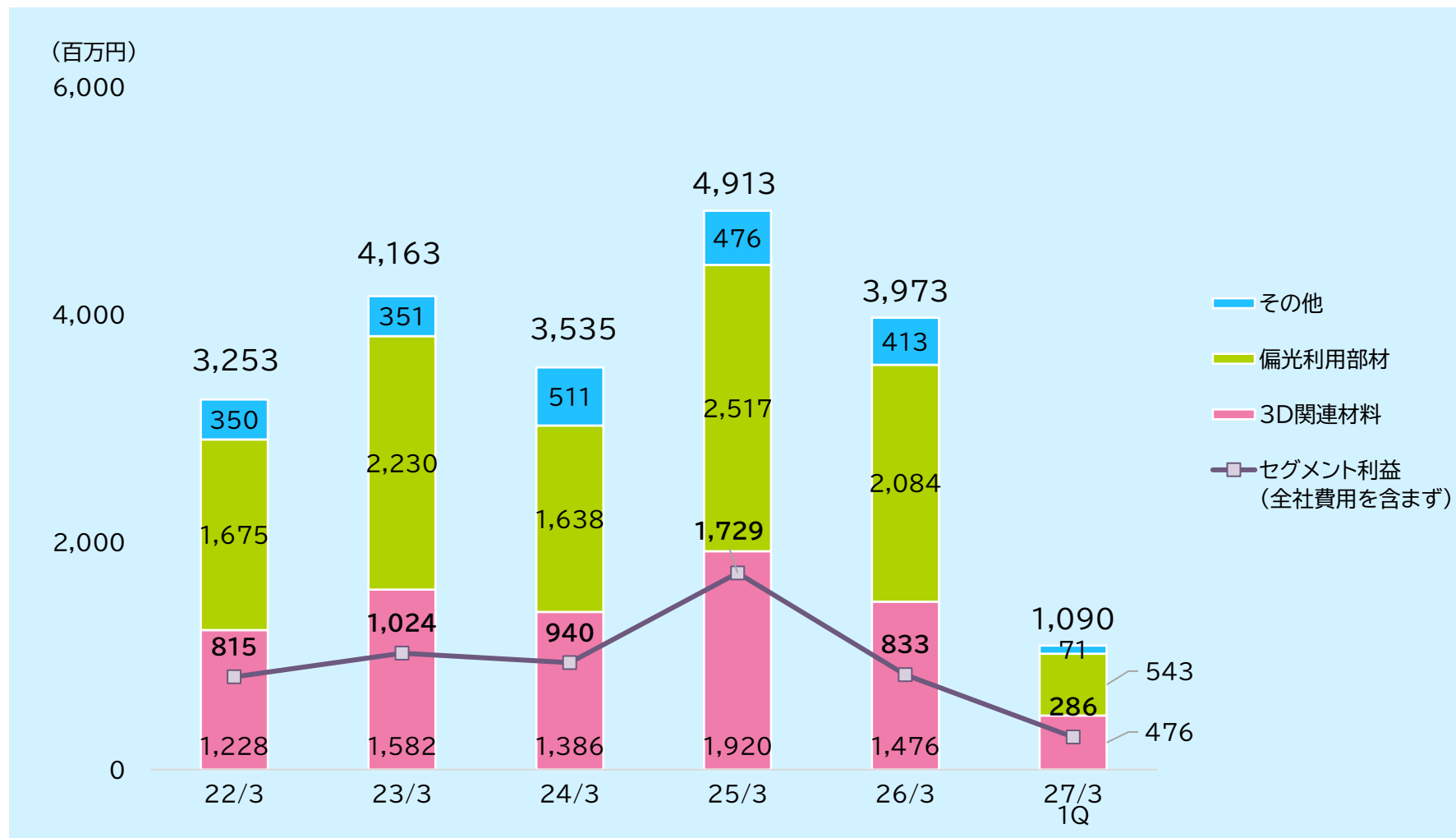




産業用構造材料の売上高推移



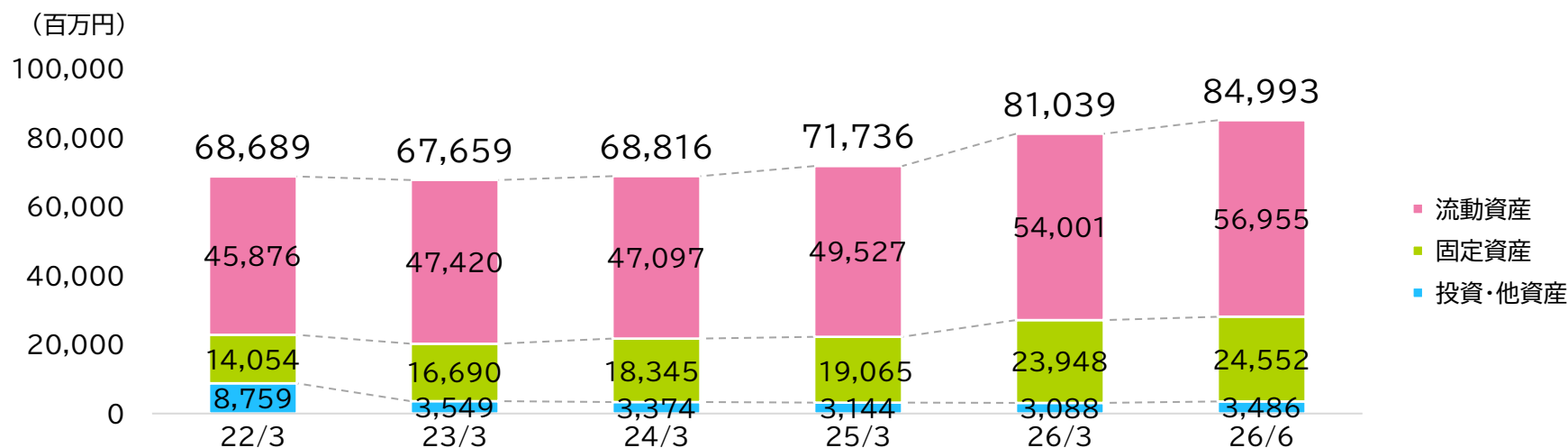
ディスプレイ材料の売上高推移



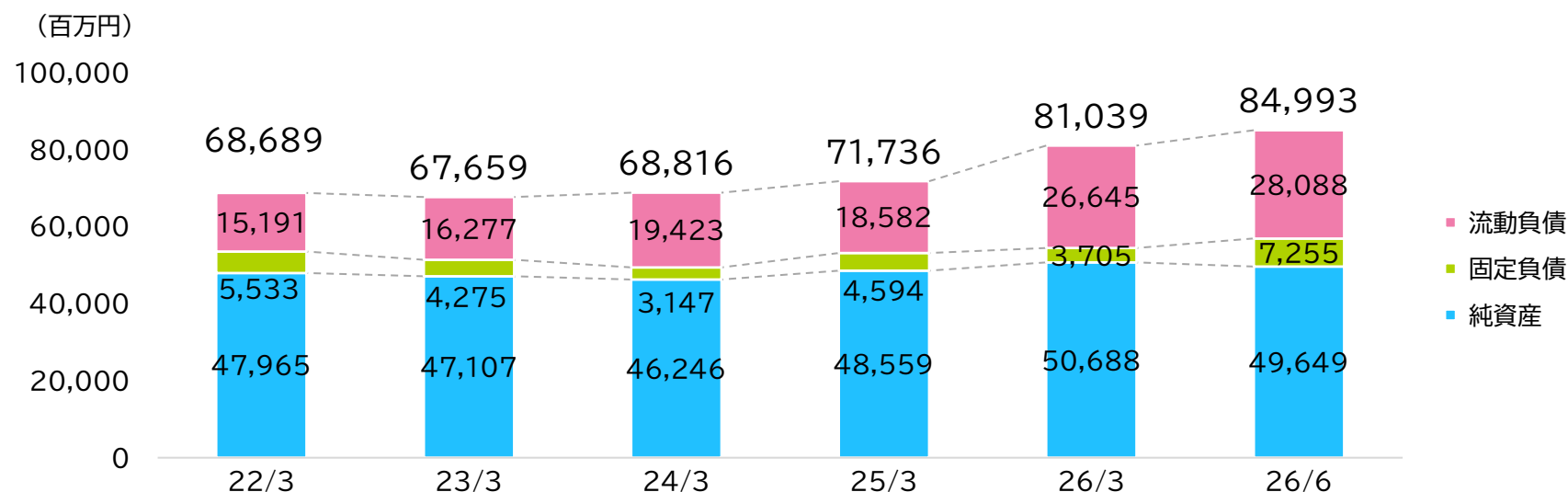


連結貸借対照表(要旨)の推移

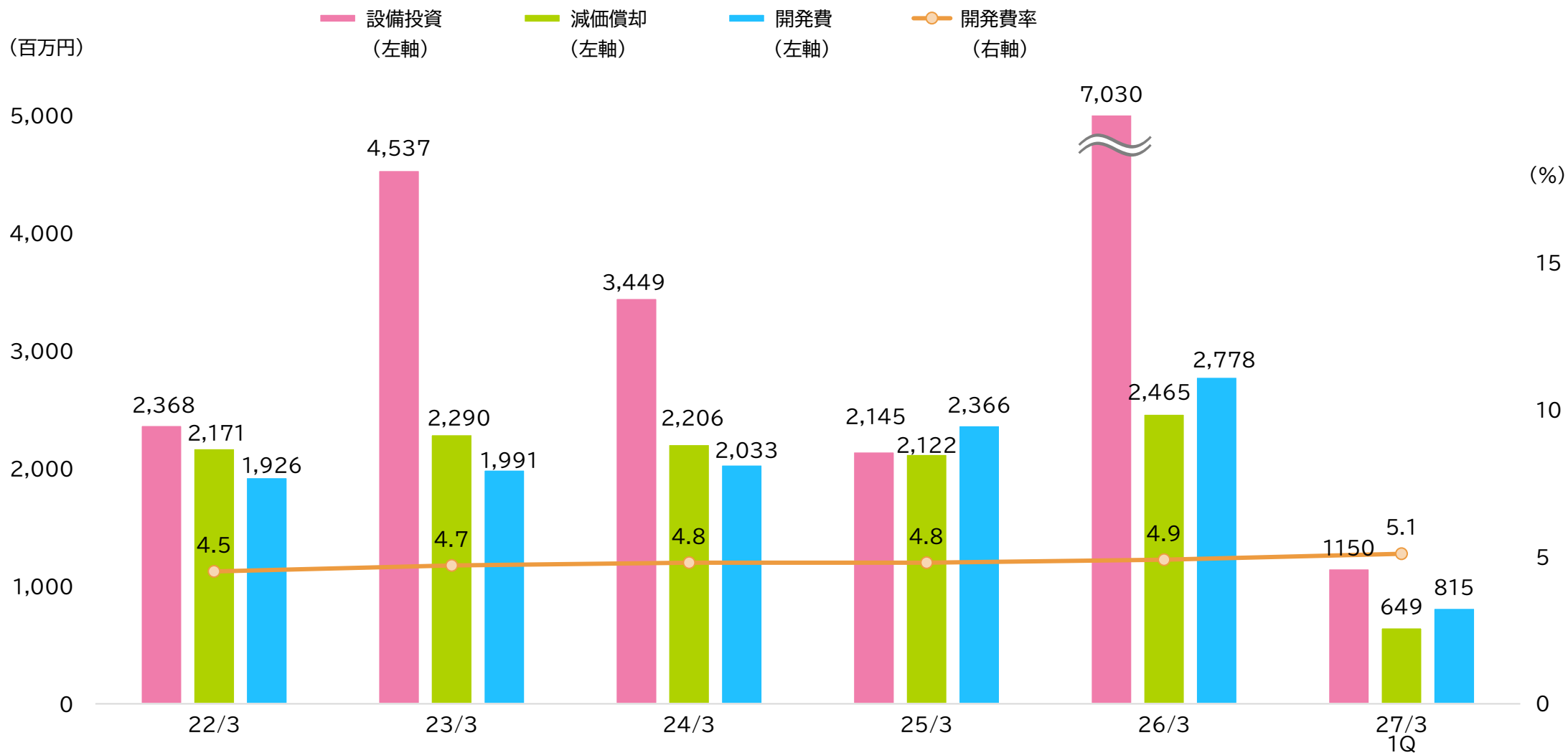
資産の部



負債・純資産の部



設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所(以下当社)による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。